

テーマ別パスファインダー



中国語学習・研究に便利な ツール、サイトのまとめ



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2016年2月15日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングcommons るくす | LSチーム

I. 中国語学習・研究に便利なツール、サイトとは？

中国語の学習や中国関連の研究を進めていく上で、先行研究やその他の関連資料を理解することは不可欠です。しかしながら、私たちはそこで知らない言語学用語に出くわしたり、馴染みの無い何かの名前を目にしたことになり得ます。手持ちの辞書には載っていない俗語に遭遇したり、百科事典に載っているような知識が必要になったりするときもあります。そのようなとき、どのようにして調べたらよいのでしょうか。この「るくぱす」では、中国語学習・研究に役立つようなツールやサイトをまとめてみました。

関係分野：言語学、教育学、中国語学、学習ストラテジー

II. 辞典・事典類

【学内の PC から利用できる便利なオンライン辞典・事典】

＜ 中国工具書 (CRWO)

<http://gongjushu.oversea.cnki.net/chn/book.aspx>

大阪大学附属図書館＞データベース一覧＞(絞り込み主題分野：文学・言語学)＞中国工具書

同時アクセス数 5

中国語に関連する多種多様な辞書から、必要な辞書を選択して知りたい語句を調べることができます。

＜ ブリタニカオンライン

<http://japan.eb.com/>

大阪大学附属図書館＞データベース＞すべてのタイトルを表示＞ブリタニカオンライン＞グローバル・レファレンスセンター＞不列顛簡明百科全書＞[Click to Enter](#)

<http://pocket.china.eb.com/cgi-bin/gs/gswweb.cgi>(中国語のページ)

日本語をはじめ、英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語の『ブリタニカ国際大百科事典』を検索できます。固有名詞の中国語訳を調べたいような場合にも役に立ちます。

【学外でも利用できるオンライン辞典】

オンライン辞典は、中国語の手書き入力可能な端末を使えば、部首名や画数を調べなくても、漢字の読みや意味等を調べられて便利です。

◀ 北辞郎

<http://www.ctrans.org/>

- ・信頼性は低いですが、辞書には載っていない新語や俗語、成語とまでは行かないよく使われる言い回しも載っていることが多く、ちょっとした調べ物をするには便利なネット辞書です。
- ・検索語が北辞郎に載っていない場合、直接他のオンラインサイトに飛んで調べられる機能も魅力的です。

◀ Weblio 中日・日中辞書

<http://cjjc.webl.io.jp/>

日中・中日辞書

<http://cjjc.webl.io.jp/sentence/>

検索語が用いられた対訳付きの例文を見ることができます。

<http://translate.webl.io.jp/chinese/>

語句だけでなく、文章の機械翻訳ができます。

◀ 有道 youdao 词典

<http://dict.youdao.com/>

“汉日互译”（中⇄日）には載っていない語でも、“汉英互译”（中⇄英）で調べると載っている場合もあります。“汉日互译”には載っていない場合は、一度“汉英互译”に載っていないか調べることをお勧めします。（“汉日互译”と“汉英互译”の切り替えは、一度何らかの語句を検索すると、次の画面以降、検索語句入力スペースで選択できるようになります。）

◀ 在线汉语字典

<http://xh.5156edu.com/>

「字典」という名の通り、漢字一字ごとの解説のあるオンライン中中字典です。

◀ iCIBA 爱词霸

<http://www.iciba.com/>

英中、中英辞典。英中の対訳付きの例文等もみることができます。

【スマートフォンやタブレット端末に入れられるアプリ】

＜ All 中国語辞書

上に挙げた『北辞郎』等の中日・日中ネット辞書や検索サイトを複数まとめ、一度の入力で複数のサイトに簡単に飛べるようにした、オンラインで用いるアプリです。(2016年2月8日現在は無料)

＜ Pleco Chinese Dictionary

オフラインで使える中国語の辞書です。解説は日本語ではなく英語です。(2016年2月8日現在は無料)

＜ 有料の辞書アプリ

近年では、数万円する電子辞書を買うよりも、電子辞書と同じ辞書が入っている有料アプリを買う方が安く済むという現象が生じています。どちらを買うか、一長一短ではありますが、電子辞書は故障すると保証期間外であれば修理が有料になる上に、機器そのものの経年劣化は免れられません。アプリなら、一度購入すると自分の複数の端末にダウンロードでき、特にスマートフォンは数年毎に買い替えることが多いので、ずっと使い続けられるというメリットがあります。また、スマートフォンにダウンロードしておけば、一昔前のように、携帯電話と別に電子辞書を持ち歩かなくても済むので、持ち運びにも便利です。さらに、辞書中の言葉で更に調べたいことがあれば、そのままインターネットで検索でき、手元に紙がなくてもメモをとることができるといった利便性もあります。ただし注意すべき点として、有料のアプリでも使い勝手の悪いものもあるので、搭載されている辞書と評判を事前によく調べてから購入することをお勧めします。

III. 新聞

＜ 人民日報

http://www.oriprobe.com/peoplesdaily_ja.shtml

「このデータベースを使う」をクリックして使用します。(学外からも大阪大学個人IDとパスワードによる認証によりアクセス可能)(同時アクセス数3)

IV. コーパス類

中国語の大規模コーパスは幾つかあります。それぞれのコーパスで検索式の仕方が異なり、長所短所があります。自分の研究に合わせて使い分けることをお勧めします。ただし、コーパスのデータには多くの誤植等も含まれているので、必ずしも「正しい中国語」ではないことに注意して使いましょう。

＜ 北京大学语料库 (CCL)

<http://ccl.pku.edu.cn/corpus.asp>

http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/

(上の URL は“現代汉语语料库”“古代汉语语料库”“汉英双语语料库”を選択できるページ、下の URL は“現代汉语语料库”のページです)

- ・ 検索時の細かい設定ができるので、調べたい表現をかなり絞り込むことができます。
- ・ 「複数の似た表現だけど、どちらがより一般的な表現なのだろうか？」とか、「文法的には間違っていないはずだけど、こんな言い方はよくするのだろうか？」等といった疑問を手っ取り早く調べるとき、ざっくりとした傾向をつかむにはとても良いツールです。
- ・ 辞書で探しても載っていない表現や、辞書で探しにくい構文やフレーズなどを検索すると、その語句が使われている大量の例に目を通すことができるので、大まかな意味をつかむこともできます。
- ・ 収集した例文をデータとして手元に残したい場合には、左上の方にある「ダウンロード」のボタンを押せば、調べた例文データをダウンロードできます。デフォルトでは 500 例までになっていますが、もっと多くの例文を一度にダウンロードできるように手動で設定することもできます。
- ・ (注) 学内の Wifi のシステムからは接続できず、モバイルデータ通信等に切り替えると接続できる場合があります。

＜ 北语汉语语料库 现代汉语 (BCC)

<http://bcc.blcu.edu.cn/>

- ・ このコーパスでは、データが品詞分類されているため、特定の品詞の並びを検索することができます。たとえば、ある特定の語の後に形容詞が来る例を集めたり、量詞の後に名詞が来る例を集めたりすることができます。検索時の具体的な検索式の書き方は「使用说明」をクリックすると見ることができます。
- ・ 「ダウンロード」のボタンを押せば、自動的にデータをダウンロードすることができます。会員登録をしていない場合は、1000 例までしかダウンロードできませんが、「注册」でメールアドレスと任意のパスワードを設定して会員登録(無料)し、「登録」からログインして検索し、検索結果を「ダウンロード」>「会员下载」のボタンを押すと、10000 例までをダウンロードできます。

＜ 北京語口語コーパス

北京口语语料查询系统(BJKY) http://app.blcu.edu.cn/yys/6_beijing/6_beijing_chaxun.asp

北京語の口語表現の例文などを調べたい時に使うことができます。

＜ 台湾語コーパス

中華語文知識庫 <http://chinese-linguipedia.org/clk/index.php>

網路展書讀 <http://cls.hs.yzu.edu.tw/home.htm>

政大漢語口語語料庫 <http://spokenchinesecorpus.nccu.edu.tw/>

台大臺灣南島語多媒體語料庫 http://corpus.linguistics.ntu.edu.tw/index_zh.php

臺灣多國語言學習者語料庫系統 <http://corpora.flld.ncku.edu.tw/index.pl>

中央研究院現代漢語語料(研究院語料庫)(Sinica Corpus) <http://app.sinica.edu.tw/kiwi/mkiwi/>

中國哲學書電子化計劃 <http://ctext.org/zh>

＜ 日本語コーパス

コーパス日本語学の情報館 <http://jhlee.sakura.ne.jp/>

日本語研究のための情報収集「やちまた」 <http://www.d1.dion.ne.jp/~tmogi/yachimata/>

国立国語研究所のデータベース・データ集 <https://www.ninjal.ac.jp/database/>

V. その他

＜ 中国哲学书电子化计划

<http://ctext.org/zh>

古代漢語の勉強をしたいという人に。

＜ 普通话学习网

http://www.pthxx.com/b_audio/08_pinyin fayin/07.html

中国語の発音を勉強したいという人に。

VI. 中国語入力ツール

有料ソフト

中国語入力用のソフトには有料のものも発売されています。中国語を教える仕事に携わっていて、教材を作る必要のある場合等、中国語の漢字だけではなく、声調記号付きのピンインそのものを打ち出す必要がある人にお勧めです。

注：Windows には、中国語を入力するための IME というツールが無料で備わっています。自由にソフトをインストールできない共有のパソコンなどでは、設定して使いましょう。設定の仕方は Windows のバージョンによって少し異なりますが、インターネットで検索すると、写真つきで説明されているサイトが幾つも見つかるので参考にするとよいでしょう。标点符号を入力するキーボードの位置が日本語の入力と少し違う場合があるので注意しましょう。

◀ 無料ソフト

中国語入力用の無料ソフトでは“搜狗输入法”がお勧めです。ピンインを一文字打つたびに出てくる候補が IME と比べて「気が利いていて」使いやすいと感じる人も多いです。ソフトを自由にインストールできる個人所有 PC 等であれば試してみるよいかもしれません。

※本るくばすに掲載されている情報は、執筆時点での情報です。内容が古くなったり変わったりしている場合がありますので、ご注意ください。

✧ [パスファインダーの凡例]

◀ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

◀ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

◀ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

◀ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。